

○一方、FDA 等に提言や請願を行っている主な NPO 組織は3つあり、概要は以下のとおり。

組織名	Institute of Medicine (IOM)	Institute of Safe Medication Practices (ISMP)	Public Citizen
日本名	医学研究所		
設立の経緯、目的	全米科学アカデミー (NAS) から分離して 1970 年に設立。国民に対し、健康を向上させるアドバイザーとしての役割を果たす。	1975 年に設立。投薬の事故防止及び安全な医薬品の使用を目的とする。	1971 年に設立。議会、行政機関、司法における消費者の利益を主張することを目的とする。
主な活動内容	健康と医療に関する喫緊の課題について、調査し答えを出す。調査の多くは議会からの特別委託。連邦政府や独立した組織から求められる調査もあり。	医療機関、規制当局、消費者、各専門家、製薬産業と連携し、投薬の事故報告を調査し、安全な薬剤使用に関する情報を上記各関係者に提供している。	大きく分けて6つの分野で活動を行っており、医療分野に加え、車の安全性、議会監視、環境、貿易、訴訟がある。
人員	会員は 1,700 人。医療、法律・経済・行政等専門家から構成。政府や財団からの資金に加え、個人募金・寄付を募集。	スタッフは 20 名。医学・薬学の博士号取得者が多い。独立性監視組織として、募金や教育助成金により活動。	会員は約 15 万人。独立性を堅持するため、政府や企業からの募金は受け取らず。
成果物等	「医薬品安全の将来」(2006)の提言を受け、2007 年に医薬品・医療機器等安全対策強化を目的とした FDA 改革法が成立。	医療機関向けの「投薬安全警報」(隔週)、消費者向けの「安全な医薬品」(隔月)等発行	FDA に対し、ガチフロキサシン製剤の販売禁止を請願(2006)等の実績